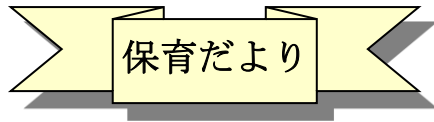


●いつでも夢を！

人間、やれる時にやったほうが良いね！周囲にも言われてきた言葉ですが、今までを振り返って実感する今日この頃です。どなたもいろいろな環境に恵まれて、楽しんで一生懸命に入れ込んで来た経験がおありの事と思います。頑張れる時に頑張らないと自分の歴史を将来語れないですよ！と鬼怒川温泉で旅館を営む女将さんが、ことあるごとに言われておりました。それは楽しい思い出ばかりに変わって行くもので、結果は出せなかったことでも自分の歴史が語れるように成るものですから、好きなことも必要に迫られての事でも、一生懸命が良いですね！今、アメリカで活躍している大谷翔平さん、小学校時代から一生懸命走れ！一生懸命投げろ！一生懸命打て！と、それだけで今までも、今も変わらない気持ちで野球をしているとお父さんが言っております。誰もが成しえない結果も出されておりますが、楽しい心情で歩んで来たことを思うのです。大変さや苦労を超える前向きな日々が思い描けます。

私たちの毎日に目を向けてみますと、大谷翔平さん程では無いにしても、乗り越えなくてはならないことが毎日のように出て来ますよね！上手く行かないことが出て来ますよね！朝のテレビで今日の運勢を聞いて力を貰って家を出る人も居るでしょうが、きっと、それぞれに道を見付けて気持ちの整理を付けて、行動に移すことを積み重ねておられるのだと思います。大概の事は何とかこなって行くものです。周囲の力で！しかし、人間には競馬で言えば第四コーナーを過ぎてから、本気で力が出せたり、また、誰もが、その先に夢を抱いて、希望を抱いて生き抜いて行く力が備えられて居るのではないのでしょうか。毎日の生活の中でも行動の原点は、幸せになりたい！気持ちの良い生活を送りたい！と立ち上がるのではないのでしょうか。この世には絶対ということなのです。幸も不幸も長くは続かないものですよ！と安心とも落胆とも受け止められる言葉も言われますが、私たちの強いところは、夢を持てること、希望を抱けるところに在るのではないのでしょうか。心地よく幸福感を味わえる時は周囲に感謝して、そうでない状況にある時こそ、第四コーナーであります。そうです、同じ状況が永久には続かないのが世の常なんですから、この時は自分のエネルギーを貯める時期、目をそらさないで受け止めながら、夜明けを待ち、また立ち上がり動けるのですから！目の前の起きた難問と思えることも、沖縄の方言に、なんくるないさー！北海道の方言に、しかたないべさー！このようにして乗り切る人たちの、心の安定を図りながら元気に生きる日本人の仲間が居ることも、心の隅に置きながら置かれた環境で、意気軒昂に生き抜く心掛けが大事なところかと思うのです。

いつでも夢を！ 歌謡曲にもこんなタイトルの歌がありました。私達も、これまでも夢を持ち続けて生きて来たように思います。幼い時代から周囲の人たちによる影響や育てられた環境は、どなたもそれ以降の歩みを決定づけられ、年齢と共に具体的な楽しみや目標も沸いて来るものです。幼稚園時代は環境が70パーセント！言い切る学者もおられます。この時代から夢を語れ、夢を聞いてもらえる環境の中で成長して貰いたいものです。いつでも、いつまでも夢を抱きながら私達も暮らして参りましょう。

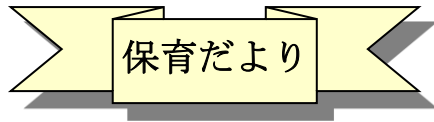


●こども心！

いつも思い出す小さい頃の風景や場所が皆さんには有りませんか。私の風景は、川辺小学校の上の校庭から下の校庭に降りるコンクリートの坂の壁なのです。あそこで何度かの遊びを重ねて来た事から、懐かしい場所として折に触れて思い出されるのです。それに伴って暖房に使うダルマストーブの燃料の置いてある石炭小屋、用務員さんが休憩するストーブの置かれた小屋等などが限りなく思い起こされるのです。そして、何とその当時、校庭の真ん中に砂場があり、その砂場の淵に座り仰向けに成って空に浮かぶ雲が、今でも空に浮かぶ雲を見て自分を取り戻す事につながっております。物を集める事でも、買って貰った物や友達と遊んで勝ち取ったベーゴマも、やすりで削って強くしたり、麦畑の一角の土中に埋めて錆を付けて強くしたりと、その当時の大事な宝物でした。ラジオ番組の主題歌が印刷されたカラーの印刷物も沢山集めました。サボテンも小さな鉢で幾つも買い揃えてビニールハウスで囲い水やりと気温に気を付けながら、成長のゆっくりとしたサボテンも宝物でした。今でも実家の縁の下にひっそりと生息しております。また、ニワトリも昼間は庭に放し飼いでしたが10羽ほどの夕方の餌作りは私の役目でした。白菜を切り米ぬかと混ぜて喜んで食べてくれました。夕飯の食卓には生んでくれた卵が上ります。親戚が来る何日か前からは、親戚のお土産用として私たち家族は食べられませんでした。また、鳩も庭に手作りの鳩小屋を作り数十羽を飼い、屋根から呼ぶと直接、私の手の平に降りて来ると嬉しい経験もさせて貰いました。犬も飼って居ました。名前は代々、タロでした。猫は代々、タマでした。農家でしたので牛もヤギも居ました。屋敷内には、いろいろな種類の柿も植えられて居ました。学校から帰ると柿の木に上り、遠くを眺めながら折れない枝に座り、猿蟹合戦よろしく食べきれない程の柿を食べました。屋敷は現在、幼稚園子ども達が遊んでくれている竹林であり雑木林でありましたから、木の上に古材とロープを使って休み場所を作ったり、伸びた枝からロープをぶら下げてブランコも作りました。また、その昔は芋などを保存しておく、室（むろ）が竹藪の下に掘られて居まして、隠れ場所として遊び場所として楽しめました。また、周囲が竹林ですから、いろいろな遊びの道具も作りました。**木元竹裏！**木は根元から割き、竹は先の方から割く知識も学び、竹とんぼ、弓矢、鉄砲も、杉鉄砲、紙鉄砲、水鉄砲、竹馬、そして戦う武器として刀等も作り、後には囲い堀作りにも貢献してきました。

幼稚園においても同様に、四季の変化の折々に沢山の興味の沸くことが起きております。意図的に冬野菜を植えたり、春に咲いてくれる草花や球根を植える活動も行っておりますが、幸いにして、すずらん幼稚園には、遊びを見付けられる自然が詰まっております。遊びを創り出す環境があります。これからも教えて貰う事も沢山あると思いますが、自分で発見すること、自分で気が付く喜びは、生涯に上積みされて行く事と信じます。興味をもって遊べる環境を作りましょう。結果の心配は後にして、一生懸命の心に寄り添い見守りましょう。

今回の発表会も、あの舞台上、いろいろなことを感じながら、また成長してくれることでしよう。みんな頑張れ！



●心の声に！

いよいよカレンダーも最後の1枚に成りました。師走は諸説ありますが、兎に角、期限付きで気忙しいのであります。マスコミのカウントダウンも追い打ちを掛けますよね。どなたもが一日の予定を立てて、夕方には多くの予定をやり遂げて一日が終わり、明日に向けて休む流れに慣れ親しんで来ての、この時期ではありますが、流されやすく追われる気持ちが否めないであります。幾らか気持ちが窮屈になった時に皆さんは如何なさいますか。皆さんの周りにもいろいろな友がお出でかと思いますが、コーラスを生活の合間に続けて来られた80歳に成らんとする友がおります。幾つものコーラスグループを運営しながら、お仲間とコーラスの時間を超えて、四季折々に自然を愛でに出かけているそうです。時々、お会いして、いろいろな人との出会いやこれまで集めて来られた楽曲も持参してくれて、私の部屋でひとしきり、その人の世界に浸らせてもらう時間も楽しみにしております。この季節には相応しくはないのですが、子ども達が川をのぞいてメダカを見て、みんなで集まって学校みたいだね。そうです。童謡のめだかの学校です。

めだかの学校は川のなか そっとのぞいて見てごらん そっとのぞいて見てごらん

みんなでおゆうぎしているよ

めだかの学校のめだかたち だれがせいとかせんせいか だれがせいとかせんせいか

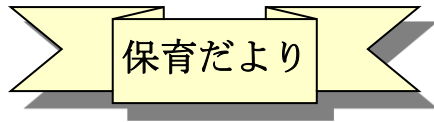
みんなでげんきにあそんでる

めだかの学校はうれしそう みずにながれてつ〜いつい みずにながれてつ〜いつい

みんながそろってつ〜いつい

この歌の大事なところは、そっとのぞいてみてごらんだと思います。とは指導される方のお話ですが、その、そっとがとても大切なところでありまして、幼稚園でも全ての活動にわたって、心の流れを思い計画も立て、関りも思いをくみ取りながら子ども達との生活の毎日なのであります。心静かに耳を澄まして心の声を聞き取る役目を担っております。

幼稚園の冒険の森の、上に高く伸びるもうそう竹に静かに耳を当てると、普段、耳にしない音が聞こえます。それは、何だと私の説明はしない方が良いと思います。聞こえた人の思いに委ねることしますが、心静かに、そっと見てみると、そっと聞いてみると、普段感じられない物も感じられて来るものです。呼吸を深くゆっくりとして、流れを変えてみる。ある人は空の雲を見て立ち止まり、気持ちを整える。いつもいつもやり残したことに追われる気持ちや周囲に合わせて生きる気持ちから、少し休んで自分の気持ちから、また一步踏み出すことをしなせんと、実は体にも大きな負担が掛って居ることに気付くのです。今までの方法が一番生きやすいとは思いますが、意識していないところで、心も重くなっているのです。年末の気忙しさも、誰が作り出して居るのかはそれぞれの思いであります。修行も学びも訓練も、すべて、その後の生活が楽になる為にあるのであります。周囲の心に寄り添いながらも、自分の心の声にも目を向けて、年の瀬にこそ心を自分に向けての時間を過ごしたいものです。生きることは楽しいはずですから。



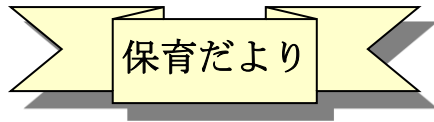
●幸せを願う！

新年に先立ち折角のお正月ですから、一年の幸せ祈願に出向かれた方も沢山お出でだったことと思います。幸せは人それぞれですが、幸せな人は、もっと幸せになりたい。もっとお金があれば、仕事がうまく行くように、もっと健康であれば等々、硬貨一つで願い事の多いこと多いことと、川柳張りに思いながらも気持ちが落ち着いたり、晴れやかになったりするものです。先日、幼稚園に訪ねて来られた方と幸福について、お話をする機会を得ました。先の述べたことは、確かに大事ですが実はそれほど大事ではなく、**幸福を感じるためには、自分の人生にきちんと向き合って生きることと自分を超越する存在とつながっているという感覚があることではないか**と言うのです。

ほかの人を見ていると、幸せが天から降って来るように思えたり、お金持ちの家に生まれたり、簡単に出世したり。しかし、実際はあまりそういうことはないし、あったとしても長続きしないのではないかと思います。幸せというものは、人よりお金をもっているとか、地位があると言うような、外からの基準では判断できないのではないのでしょうか。

自分の人生を考える場合には、勉強して高校、大学に受かるとか、努力して地位が上がるということも必要かもしれませんが、それとは違う見方をどこまで、その中に入れていけるかが、幸せになるための勝負どころかではないかと思います。ここでスヌーピーの話が出て参りました。「スヌーピーが犬小屋でボーッとしていると、合理主義のかたまりのような少女、ルーシーがやってきて、あなたは人生を無駄に過ごしていると思うわと言います。スヌーピーが無視していると、ルーシーがもう一度言います。あなたに出来る、千もの事があるに違いないのに。スヌーピーは相変わらず無視していますが、ルーシーが去った後に、その通りです。でも犬であるってことは、フルタイムの仕事でね」こう言う思いが腹の底にあると、たとえ何もしていなくても、フルタイムで仕事をしていると言う誇りが出て来ると思います。私は私の人生を生きていると言えることは、どれだけ凄いことかと思えます。

二つ目の自分を超越する存在とつながっていることについてですが、科学技術が進歩して快適で便利な生活が出来るようになりました。しかし、もっと大きく、もっと早く、もっと沢山、と追いかけることが本当に幸福なのでしょう。それよりも {私はここまででいい} と**断念**することで満足を得られることもあります。もちろん断念するばかりでは進歩がありませんから、トライしてみなければいけません。ただ一方で {断念による幸福} ということも一つのテーマとして心掛けるといいのではないかと思います。走り出した生活は、{ここで止めておこう} と言うことが出来ずらく、昔ならば宗教が教えてくれたのですが、現代は、それを自分で見付けなければならない難しい状況にあります。そこで、自分の物語を見付けることが大切なのではないのでしょうか。主人公が自分の物語です。そして、私という存在を支えてくれるもの、それは {たましい} と呼び、物事を割り切って考えるのは止めましょうが、{たましい} の精神です。たましいは何を欲しているのだろか。と言う見方をした方が結果的に幸福に成って行くのではないのでしょうか。



●旅立ちのとき！

年度末を迎えて、幼稚園生活のみならず全ての生活を振り返る時期を迎えました。毎月の誕生写真を一緒に撮るときに、改めて身長が伸びて居たり、立ち振る舞いや言動が成長して居たりと、写真を撮る少しの時間での会話で感じております。人は自らの力で伸びようとするものを頂いております。幼児期だけではなく、いつの時代も目の前の事に向き合って、喜びも見出して生きております。もうすぐ卒園に成る年長組97名の人達にとりましても、コロナ禍の2年間でありましたが、精一杯に多くの事を学びながら生活出来たのではないのでしょうか。すずらん幼稚園は、コミュニケーション能力が付くよね！と言ってくださった保護者の方がおりました。それぞれに成長を喜び合える節目ですね。

お子さんを幼稚園に迎えたときから、みんなと仲良く生活をして！ **意欲をもって自然に触れながら生活をして！** そして、**生活を創り出せる人に成って！** そんな願いで環境を作り、生活体験を重ねてもらいました。最初の集団生活でしたから、楽しみも見付けて、新しい発見があり、助け合える嬉しさを経験しながら、自分の思いと違う場面や出来事にも出会って、戸惑いながら過ごしたことも想像できるところです。生きる中で、一つ一つの出会いに自分流の解決の道を見付けて乗り越えて来たはずです。それも自分にしか出来ない方法を見付けてくれたはずです。その達成感の数々は生涯にわたって思い続け、周囲にも語りながら生きて行くのです。楽しかったことは、何度も思い起こし、何度も周囲に話し、聞いて貰いながら自分自身を作り上げて行くのですから。一人一人の幼稚園の卒園証書は、一人一人の思い出とこれからに向かっての思いを乗せた事が形に残り価値あるものだと受け止めております。此れまでの歩みを称賛しながら、これからの生活に、ご家族の皆さんと一緒に応援出来る嬉しい出発の節目と、一緒に過ごせたことへの感謝の気持ちも頂きます。生きることの全てを、あの幼稚園の砂場で学んだ！と述べた教育学者がおりました。幼児の時代から遠く離れた方の実感なのだと思います。私達も自分の生涯を振り返りますと、その様な体験や出会いを感じて今に至っていることにも気付きます。様々な経験をして振り返れば夢中に生きて来た、挑戦して目標に向かって生きて来た、やるべき事を生き抜くが如くやって来た、その志半ばの方も経験を積んで年齢を重ねた方も、次へのステップを考えながら夢と希望を抱き生きて行くように作られて居るようですが、50代から走り始めたにわかランナーが学んだことの一つに、走りながら休むことでした。マラソンの理想はイーブンペースと聞きましたが、人生をマラソンに例えては恐縮ですが、走ることで駄目なことは無いのでありまして、自分のレースに心掛けて走ることを楽しめることで宜しいのです。マラソンには決められた距離とゴールがあります。人生も毎日を楽しめるだけで十分なのでありますが、生きる目標や目的は？と聞かれると返事に困ります。新しい世界に飛び立つ年長さんが、その目的を探しながら掴む人生の出発の時として応援したいと思います。一人一人の人生のおごそかな旅立ちです。